

LONDON
2012

ロンドン特集

秋山 里奈さん(大学院法学研究科2年)

パラリンピック100^{メートル}背泳ぎで悲願の**金メダル!**



(上)表彰台の真ん中で、ライバルと健闘をたたえ合う
(下)悲願の金メダルを獲得し、満面の笑顔の秋山選手
©studioAFTERMODE

ロンドン・パラリンピック競泳女子100^{メートル}背泳ぎ(視覚障害)に出場した明大の秋山里奈選手(あきやま・りな、大学院法学研究科2年)は、1分19秒50の大会新記録をマークし、悲願の金メダルを獲得した。

駿河台キャンパスで6月20日に行われた激励会で、約350人の関係者を前に「新記録を出して、金メダルを獲る」と力強く宣言したとおりの快挙だった。

生まれつき目が見えない秋山選手は、3歳で水泳を始めた。8年前のアテネでは同種目で銀メダルを獲得したが、4年前の北京では同種目がなくなり、悔しい思いもした。

しかし、明大で培った“あきらめない『前へ』の気持ち”が、ついにロンドンで、一番きれいな輝きのメダルとなって花開いた。

おめでとう秋山里奈さん。そして感動をありがとう。

